

昨年の会場風景

平成 28 年 6 月 7 日 (火)
あいち産業科学技術総合センター
瀬戸窯業技術センター 製品開発室
担当 長谷川、寺井
電話 0561-21-2116、2117
愛知県産業労働部 産業科学技術課
管理・調整グループ
担当 加藤、山田
内線 3388、3389
ダイヤルイン 052-954-6347

「陶&くらしのデザイン展 2016」を瀬戸蔵^{せとぐら}で開催します —あいち産業科学技術総合センターはじめ全国の試験研究機関が出展—

あいち産業科学技術総合センター瀬戸窯業技術センター始め、陶磁器に関する全国の試験研究機関が取り組んだデザイン開発の成果や試作品を一堂に集めて公開展示する「陶&くらしのデザイン展 2016」を、7月7日(木)から11日(月)までの5日間、瀬戸蔵(瀬戸市)で開催します。

展示会では、陶磁器を中心としたインテリア・エクステリア用品などの試作品やデザイン提案を展示します。瀬戸窯業技術センターからは、平成27年度センター研究成果の蓄光レース磁器^{*1}や蓄光アクセサリ、リトフェイン^{*2}照明器具を出展します。

専門家はもとより、一般の方にも楽しんでいただける陶磁器産地ならではのイベントとなっていますので、ぜひ御来場ください。

1 展示会の概要

(1) 名称

陶&くらしのデザイン展 2016

(2) 会期

平成28年7月7日(木)から7月11日(月)までの5日間
午前10時から午後6時まで(最終日は午後4時まで)

(3) 会場

瀬戸蔵(4階多目的ホール)
(瀬戸市蔵所町1番地の1)
電話: 0561-97-1555

(4) 入場料

無料

(5) 出展機関

陶磁器に関する全国の11試験研究機関

(別掲 陶&くらしのデザインコンソーシアム参加機関 (一般財団法人日本陶業連盟を除く))

(6) 展示内容

陶磁器を中心としたインテリア・エクステリア用品などの試作品やデザイン提案(開発コンセプトや製品アイデア)など、全国の試験研究機関が独自に、あるいは地域の企業・業界と共同で開発した成果品を展示します。

(7) 主催

陶&くらしのデザインコンソーシアム

国立研究開発法人産業技術総合研究所中部センター産学官連携推進室が核となり、陶磁器産業技術に関わる全国の公設研究機関、陶磁器産業に関わる団体から構成されています。

※コンソーシアム参加機関：

国立研究開発法人産業技術総合研究所中部センター

茨城県立笠間陶芸大学校

岐阜県セラミックス研究所

土岐市立陶磁器試験場・セラテクノ土岐

瑞浪市窯業技術研究所

あいち産業科学技術総合センター 瀬戸窯業技術センター

三重県工業研究所 窯業研究室

滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場

地方独立行政法人京都市産業技術研究所

愛媛県産業技術研究所 窯業技術センター

長崎県窯業技術センター

一般財団法人日本陶業連盟

陶&くらしのデザインコンソーシアム事務局

国立研究開発法人産業技術総合研究所中部センター産学官連携推進室

〒463-8560 名古屋市守山区下志段味穴ヶ洞 2266-98

電話:052-736-7370 FAX:052-736-7403

(8) 共催

瀬戸市、瀬戸焼振興協会、瀬戸地域窯業技術協議会

2 陶&くらしのデザイン展とは

デザインや技術が人々の生活を潤すとともに、産業の活性化に寄与している姿を実感してもらうことを目的に開催されている展示会です。昭和39年に「陶磁器試験研究機関作品展」として発足し、その後、「陶&くらしのデザイン展」へと名称が変更になりました。今回で53回目の開催となります。

陶&くらしのデザイン展は、本展と巡回展で構成されており、今回瀬戸で開催されるのは本展です。本展はその年の最初に開催される規模の大きなイベントです。本展が瀬戸で開催されるのは11年連続です。本展の後に岐阜展を開催します。

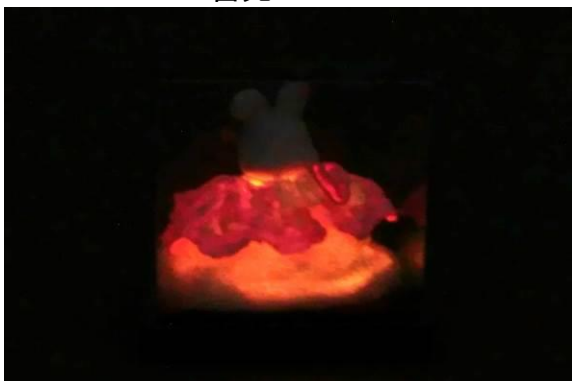
○岐阜展：平成28年10月8日(土)から10月11日(火)まで(予定)

場所：セラミックパーク MINO 展示ホール

3 あいち産業科学技術総合センター瀬戸窯業技術センターの出展内容

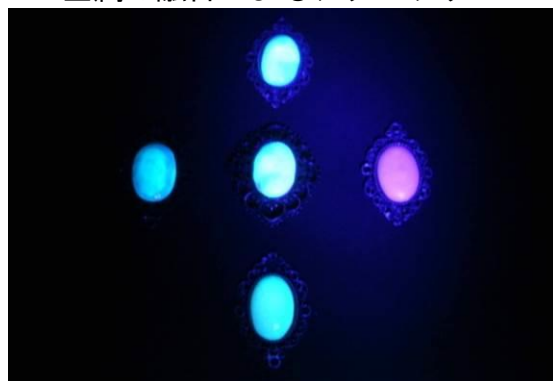
- ・蓄光レースを特徴とする磁器製人形など
- ・宝石のように輝く、蓄光粘土とガラスや金属の融合によるアクセサリーなど
- ・リトフェイン技法を活用した照明器具

蓄光レース



「赤色と橙色に発光するドレス」

蓄光粘土とガラスや
金属の融合によるアクセサリー



「宝石のようなアクセサリー」

リトフェイン照明器具



「名古屋城(未点灯)」



「名古屋城(点灯)」

【用語解説】

※1 蓄光レース磁器(ちくこうれーすじき)

蓄光とは、光を蓄えて発光する物質の性状です。身近な例としては、時計の文字盤や針に「夜光塗料」として利用されています。レースは手芸の一分野で、糸を使って作った透かし模様の布のことです。このレースが歴史の流れの中で、王侯貴族の求める高級陶磁器と融合します。粘土を染み込ませたレースを人形などに着付け、焼成することで繊細な磁器製品が生み出されました。

※2 リトフェイン

リトフェインとは大理石を削り裏から光を当てることで絵として浮かび上がらせるものです。発祥は中世ヨーロッパと言われています。“やきもの”でも、昭和初期よりコーヒーカップの底に透かしが入った製品がヨーロッパへ多く輸出されました。カップの底を光に向けて透かすと驚くほど写実的な画像が現れます。